

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970400200
法人名	有限会社 ライフ
事業所名	グループホーム レッツ
訪問調査日	平成20年12月11日
評価確定日	平成21年2月21日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	3970400200		
法人名	有限会社 ライフ		
事業所名	グループホーム レッツ		
所在地 (電話番号)	南国市立田1544番地2 (電話)088-880-6100		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年12月11日	評価確定日	平成21年2月21日

【情報提供票より】(平成20年10月20日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成15年11月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	16 人	常勤10(内兼務1)人、非常勤 6人、常勤換算 13.6人	

(2)建物概要

建物形態	併設 (単独)	新築 (改築)
建物構造	鉄骨造り	
	2 階建ての	階 ~ 1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000~35,000 円	その他の経費(月額)	15,000~20,000 円
敷金	有(円)	(無)	
(入居一時金含む)	有(円)	有りの場合償却の有無	有/無
食材料費	朝食	200 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 円
	または1日当たり 円		

(4)利用者の概要(10月20日現在)

利用者人数	18 名	男性 1 名	女性 17 名
要介護1	2 名	要介護2	7 名
要介護3	5 名	要介護4	1 名
要介護5	3 名	要支援2	0 名
年齢	平均 82 歳	最低 59 歳	最高 93 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	医療法人レザレクト 藤川クリニック・協力歯科医療機関 藤川歯科
---------	---------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

周辺は穏やかな田園地帯で、戸外の空気に触れ、散歩、畑仕事、花作りなども心おきなく出来そうな環境である。協力医療機関との連携が密で、医師の往診や訪問看護により、家族はもとより職員も安心して見守り、介護に携わることが出来ている。職員が利用者へ接する時の静かで穏やかな態度は、常日頃から理念が浸透していることの証であり、利用者の素敵な笑顔が印象的である。事業所発の情報は「田園」、「レッツ便り」、「行事報告」があり、地域住民に配布するものもあるなど、地域に対して事業所の理解を深め、交流を大切にしている姿勢が窺われる。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	評価で見出された課題について改善計画は作成されていないが、「地域密着型サービスとしての理念の作成」については職員間で話し合い、改善している。その他は代表者・管理者・ケアマネで話し合い取り組んでいるが、改善までには至っていない。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	代表者、管理者、ケアマネの三者で話し合い、自己評価を作成している。その後、職員会に提示し意見を聞いているが、評価の一連の過程を通じて、全職員での取り組みは見られない。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	事業所から、利用者の生活の様子、災害時の対応、食の安全対策などを報告し、参加メンバーから、その事に関する質問や行政への質問なども出され、活発に意見交換が行われている。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	行事を行う時に、来訪した家族が挨拶を交わし、世間話し等を行っているが、家族の意見、苦情、不満などを出せる場とはなっていない。苦情箱も設置し、職員が家族から意見や苦情などを個別に聞き取るように努めているが意見等は特に出していない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の消防訓練や祭りへの参加、近隣住民への「レッツ便り」や「行事報告書」の配布など、事業所から地域への働きかけを行っている。また、地域住民からも朝採れの野菜を頂いたり、事業所で開催する消防署員による講座に地域の人が参加するなど、互いに交流を深めるように努めている。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。 「地域との繋がりを大切に」という地域密着型サービスとしての独自の理念がある。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 月1回の職員会で意識づけするほか、気にかかる言動が見られた時にはその都度伝えるなど、理念の浸透に努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 大きな声や荒げた口調は使わず、笑顔で接し、利用者のペースに合わせるなど、日々の生活場面で、理念が反映されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 自治会等には参加していないが、現在参加を検討中である。なお、日常的に地域住民との交流は行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 地域の行事や祭り、防災訓練に参加するなど、地域との交流に努めている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p><input type="checkbox"/>サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。</p> <p>代表者、管理者、ケアマネの三者で話し合い、自己評価を作成している。その後、職員会に提示し意見を聞いている。なお、評価の一連の過程を全職員で取り組むことにより、職員の意識あわせやケアの振り返りができ、事業所の質のより一層の向上に活かされるため、その取り組みが期待される。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。</p> <p>評価で見出された課題について改善計画は作成されていないが、「地域密着型サービスとしての理念の作成」については職員間で話し合い、改善している。その他は代表者・管理者・ケアマネで話し合い取り組んでいるが、改善までには至っていない。</p>	○	<p>評価で見出された課題について改善計画を立て、実施目標、進捗状況、新たな問題点などを明らかにして取り組むことを期待したい。</p>
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>事業所から、利用者の生活の様子、災害時の対応、食の安全対策などを報告し、参加メンバーから、その事に関する質問や行政への質問なども出され、活発に意見交換が行われている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>評価で明らかになった課題について会議で報告している。</p>		
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>日頃から入居予定者や利用者の状況について情報交換を行い、家族の希望等についても仲介するなど、市の担当者と交流を図っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族が来訪する頻度は様々だが、その際には担当者と管理者と一緒に話し合いを行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 毎月1回、担当者が利用者の個別のエピソードや近況を「田園」で知らせている。また、「行事報告」や「レッツ便り」などでも伝えている。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 3,000円程度を預かり、定期的に領収書と出納帳のコピーを送り、報告している。		
8	15	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 行事を行う時に、来訪した家族で挨拶を交わし、世間話しは行っているが、家族の意見、苦情、不満などを出せる場とはなっていない。 <input type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 今まで意見や苦情などが特に出ていないため、それを受けてサービスの質の向上に反映させる仕組みづくりや取り組みは行っていない。	○	事業所の行事の際の集まり、苦情箱の設置、第三者委員の連絡先の明示等の取り組みは行っているが、家族はお世話になっているという気持ちから率直な意見等を言い難い場合もあるので、家族が意見や要望などを気楽に忌憚なく発言できる場を作るとともに、家族の意見等を運営に反映させることが出来る取り組みを期待したい。
9	18	職員の異動等による影響への配慮	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 ユニット間の異動は避け、利用者との馴染みの関係を築くように配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 引き継ぎ期間を1週間～2週間取り、スムーズに移行できるよう配慮している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 パートを含め全職員が研修に参加できるようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 研修報告書を作成し、職員会の際に報告も行っている。また、折に触れて職員間での個別伝達もしている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 市内のグループホームで立ち上げている会に出席し、また、個別にグループホームへ出向いて交流を深めるなど、職員の質の向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。 管理者とケアマネが本人や家族から意向を確認し、情報の把握にも努めている。また、病院から情報の提供も受けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 本人や家族の見学が得られず、事業所の「便り」で情報を提供する場合もあるが、なるべく見学などに来訪されるよう努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。 管理者とケアマネの2名で面接を行っている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	<input checked="" type="checkbox"/> 日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 共に暮らす生活者としての認識を常に持ち、人生の先輩から教わる姿勢で向き合いながら、日常生活において利用者が出来る場面では協働して支え合い、生活している。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。 昔の体験談や今の思いを聞き、利用者が不安な表情の時は傍に寄り添うなど、喜怒哀楽を共にし、理解するようにしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 過去の生活歴や日々の生活の中で、利用者の希望や意向を見聞きし、把握するように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 家族来訪時等に、主に管理者とケアマネが対応し話を聞くなど、個別に対応はできているものの、意見等が計画に具体的に反映されていない。 <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 ほぼ全職員の出席で、3カ月に1回カンファレンス、モニタリングを実施している。	○	家族の意見等を具体的に介護計画に反映させ、全職員に周知する取り組みが望まれる。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 基本的に3カ月に1回見直しが行われている。 <input type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 本人の状況の変化に伴い随時見直しは行っているが、期間設定は一定である。	○	変化が生じた場合には、柔軟な期間設定で経過を観察するなど、個別の期間設定を行うことが望まれる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。 協力医療機関の医師の往診、訪問看護、通院支援等、柔軟な対応により、医療処置を受けながら事業所で生活が継続出来るように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。 通院や個別の外出など、家族と相談しながら柔軟に支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。</p> <p>今までのかかりつけ医である専門医等に継続して受診できるよう、支援している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。</p> <p>家族と話しあい同伴するなど、柔軟に対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>受診結果に関する情報の共有ができています。</p> <p>家族との話し合いで、状態に変化のあった時には報告することになっている。また、利用者の変化や健康面で心配事がある場合は、家族同伴で医師から説明を受けるなど、職員間でも口頭や連絡帳で情報の共有を徹底している。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取りの指針を作成し、家族、医師、看護師、職員を交えて話し合いを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>病状の変化により、その都度医師の助言を得ながら、家族の気持ちを大切に安心して納得できる見取りの支援に取り組んでいる。</p>		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>「利用者に対する尊敬の心を大切にする」という理念に基づくケアが出来るよう、日々の介護の場面でも折に触れ話し合い、食事の時にも、さりげなく穏やかな声掛けを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>毎日使用する記録は他者の目に触れないように注意するなど、職員は利用者のプライバシーの確保について徹底している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p> <p>月1回程度、法人の代表が話を行うなど、個人情報の保護について職員に徹底するように努めている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。 日々の生活の中で、担当者が本人の意向や希望を聞き、柔軟に対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 基本的に利用者の生活に合わせているが、どうしても勤務体制等で困難な場合などは話し合っって日時を変更するなど、柔軟に対応している。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 食事の下ごしらえや盛りつけなど、出来ることは利用者にしてもらい、一緒に食事の時間を楽しんでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 主に午後4時～6時頃までの時間帯が入浴の生活パターンになっているが、長風呂希望者には配慮するなど、個別に支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 言葉かけに配慮したり、仲の良い者同士で入ったり、柚子湯を用意したり、往診や訪問看護の際に医師や看護師が声がけするなど、工夫して入浴支援を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 生活歴、家族の情報、本人からの聞き取りなどで、何がその人の役割、楽しみごとになるかを把握し、農家の出身者には鍬の使い方、調理の上手な人には包丁の使い方や味付けの仕方などを教えてもらう場面を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 調理が好きな人には手伝ってもらったり、編み物に興味を示す人には毛糸などを用意し、鶏を見るのが好きな人には餌やりを勧めるなど、働きかけを行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 馴染みの商店への買い物などに出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 散歩のほか、畑仕事の際に車椅子で一緒に行き見学をするなど、戸外に出る機会を作っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 毎日散歩に出かけ、買い物やドライブにもよく出かけている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出傾向のある利用者には付き添って出かけ、見守りながら一緒に歩き、納得してから帰途につくように支援している。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 近隣の住民とは日頃から交流があり、利用者の行動も理解してもらっており、協力が得られる関係が出来ている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 地域の防災訓練に参加し、事業所での防火訓練も実施しているが、地域住民が参加した事業所での避難訓練は実施していない。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。	○	災害時等の緊急時には職員のみでの避難誘導が困難なため、地域住民の協力は不可欠である。また、避難経路や避難手順など事業所内部の事情や段取りを理解して貰うためにも、地域住民の参加協力を得た避難訓練を実施することが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。</p> <p>チェック表を用いて把握し、水分摂取量が特に少ない利用者については、医師や看護師に報告し、点滴などの処置を受ける事もある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。</p> <p>栄養士から年2回アドバイスを受けている。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>やや手狭ではあるが、ソファやマッサージ機を配置し、棚にはアルバムも揃え、過ごしやすい工夫をしている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>ユニット間の相違はあるが、概ね家庭的な雰囲気を演出している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>クリスマスツリーを置き、壁にはサンタクロースの切り絵、テーブルにはポインセチアの鉢植えを飾るなど、季節等に配慮している。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>テレビ、机、昔弾いていたアコーディオン、家族の写真などを置き、個別に工夫している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>部屋の電灯に紐を付け、利用者が点灯出来る工夫をしたり、利用者と話合っ小物の配置換えをするなど、居心地よくつろげる居室づくりに取り組んでいる。</p>		